

社会実験「守口さんぽvol.1」

社会実験の目的

- ・エリアの将来イメージを共有し、道路・公共空間を活用したまちの魅力づくりや回遊性向上を目的とした社会実験「守口さんぽ」を実施。
(2021年11月18日(木)～11月23日(水祝))
- ・文禄堤、魅力的な店舗等のエリア資源・魅力を可視化し、エリアへの期待値やイメージの向上を図る。
- ・社会実験を通じて通行量の変化、売上等のマーケットデータやアンケート調査などの効果検証を行い、エリアリノベーション戦略にフィードバックする。
- ・実践を通じた公民連携によるエリアプラットフォームの基盤を構築するため、エリアプラットフォーム検討会の参画事業者と社会実験実行委員会を組成。

実施状況

- ・荒天のため中止した一日を除き、5日間で約5,100人の来場者があった。
- ・地域内外の出店者29社、協賛9社の合計38社が参画した。
- ・桜町団地エリアの「大人とこどもの広場」では、こどもたちが遊べる遊具の設置や地元主体のワークショップなどを実施したが、子育て世代が絶えず、滞在時間も長くリピーターも多かった。
- ・普段は人通りが少なく活用されていない公共空間の可能性を可視化でき、「守口の未来のお客さん」が求めるコンテンツが多く提供された。
- ・多様な世代が各会場を回遊してまちを楽しむ様子が見られた。

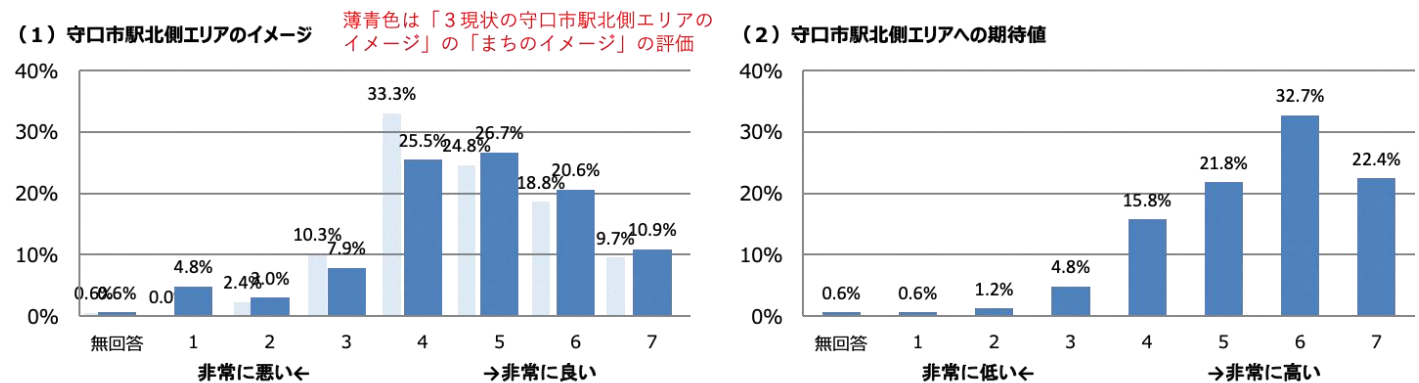


効果検証

- ・来場者アンケートにより、来場者の属性・年代、満足度、守口市のイメージ、エリアでの居場所・利用頻度、社会実験によるイメージの変化、駅北側エリアの将来検討に向けた必要機能等を調査。(来場者：146名、シンポジウム参加者：19名 合計：165名)
- ・年齢は20～59歳が大半を占め、20～39歳の若い子育て世代、家族連れが半数。
- ・エリアの現状イメージは、中間値(どちらでもない)評価が最も多い。賑わいやイメージ、魅力づくり、愛着醸成やまちを自慢できるような意識づくりや機運醸成が課題。
- ・社会実験により、守口市駅北側エリアへのイメージの変化や期待値が高まっている。
- ・ぜひ参加したい、時間があれば参加したいが9割を超え、次回実施への期待値が非常に高い。



社会実験の実施場所及びプログラム (引用元：Google社Google マップ)



- ・3現状のイメージと比べ、4以下が減少し5～7の評価がやや上昇。
- ・「6」以上の評価が半数を占め、期待値は高まっている。